

## 都市型観光について

### 1. 平成 28 年度 区観光事業の実績 【予算総額：170,143 千円】

#### (1) 観光資源の整備 【予算：90,060 千円】

観光まち歩き（4回）、水辺活用イベント、明治維新周年関連事業、広域観光まちづくり支援事業、都市型観光プラン促進事業（協議会）、鉄道会社との連携事業、イルミネーション設置事業、など

#### (2) 観光情報の発信 【予算：22,194 千円】

観光フェア実施、観光情報ホームページ（しながわ観光協会）、大学との連携事業、交通機関広告事業、など

#### (3) 観光サービスの充実 【予算：43,249 千円】

観光冊子（しながわ旅本）作製、観光マップ作製、街角観光案内所、歩行者用観光案内標識設置・維持、など

#### (4) 外国人観光客の誘致推進 【予算：14,640 千円】

多言語パンフレット等作製、羽田空港国際線ターミナルでの情報発信、V J 地方連携事業、海外日本博出展、SNSによる情報発信、など

\* 区内観光イベントの概要については資料 1 参照

### 2. 観光振興協議会における取り組み

#### (1) 協議会開催実績

##### ○第 1 回（6 月 17 日）

議題：都市型観光プラン、観光振興協議会、観光フォーラム、など

##### ○第 2 回（12 月 12 日）

議題：専門部会の中間報告、観光関連の取組み、情報交換、など

##### ○第 3 回（平成 29 年 3 月 23 日を予定）

議題：専門部会の検討結果報告、区内の観光事業実績、など

\* 協議会の議事内容については資料 2 参照



## (2) 専門部会開催実績

### ①水辺活用部会

3回：8月4日、11月24日、平成29年1月31日

内容：○課題検討（誘導サイン、環境整備、利用マナー・ルール、など）  
○先導的プロジェクト検討（観光舟運活性化、区民の水辺利用、など）

### ②ショートトリップ推進部会

3回：8月4日、11月24日、平成29年1月31日

内容：○情報共有（ショートトリップの現状と今後の予定）  
○企画検討（主なターゲット、エリア別コース、組織づくりなど）

### ③国際化対応部会

2回：10月6日、平成29年2月3日

内容：○情報共有（国際化対応の現状と今後の予定、課題、など）  
○意見交換（受入体制、外国人への情報発信、など）

### ④情報発信強化部会

2回：10月6日、平成29年2月3日

内容：○情報共有（情報発信の現状と今後の予定、課題、など）  
○課題検討（情報の一元的集約・発信、フィルム・コミッションの取組、など）

\*各部会の活動内容については資料3参照



## (3) 主な成果

### ①観光に関する課題対応の検討

各部会での討議、意見交換により、実際に観光事業に携わる会員が検討したことで、それぞれの課題対応について、より効果的な対応策の検討が可能となった。

### ②具体的新規事業の企画案作り

水辺活用、ショートトリップの具体的な新規事業のプランや、国際化対応のための情報発信、受け入れのあり方、情報発信強化のためのアイデアなど、今後活かせる企画案の検討ができた。

### ③ネットワークの拡大

各部会とも、熱心な討議、企画案作成だけでなく、部会終了後の意見交換、交流が活発に行われ、事業実施時の連携に向けた各団体等のネットワークが拡大した。

### ④連携事業の拡大

○電鉄事業者の協力により、観光フェアや沿線エリアの各イベント等で連携することで、効果的なPRや内容の充実を図ることができ、集客数やにぎわいの創出に大きな成果が出た。



○天王洲運河を中心に活動する地域団体の声かけにより、新年度4月の各エリアのイベントを連携、協力して実施し、面的な広がりでも多数の集客、内容の充実を図る協議が行なわれている。

### ⑤参加団体等の増加

観光振興協議会の活発な活動や、各事業での連携成果により、新規の協議会への新規加入団体が出てきている。

## 3. 実績を踏まえた今後の取り組み

今年度の「品川区観光振興協議会」における検討や、各種観光事業の成果を踏まえ更なる観光振興を図っていく。また、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会と文化プログラムへの取り組みや、シティプロモーションとも連携して、相乗効果により効果的な事業を促進する。

今後も、区と観光協会だけでなく、観光事業に取り組む地域団体、事業者などを主体に、関係団体等とも連携し、「オールしながわ」で長期的展望に立った事業展開、連携体制の強化に引き続き取り組んでいく。

## 平成28年度 都市型観光に関する主な事業一覧

	事業名	主催	区協力	実施日	事業の概要	区分
1	観光振興協議会	品川区	—	6月17日 12月12日 3月23日	品川区観光振興協議会を設立し、6月に第1回目を開催。都市型観光プランの早期実現に向けて、4つの専門部会に分かれて議論を重ね、12月に中間報告、3月に年度報告を行う。	新規
2	観光フォーラム	品川区	—	7月1日	「品川区都市型観光プラン」策定、「品川区観光振興協議会」設立を記念したキックオフイベント	新規
3	目黒川夜市	品川区	—	7月29日 7月30日	五反田ふれあい水辺広場を会場に音楽ステージやケータリングカー、クラフトマーケットやマルシェにより水辺の宵を楽しむ	新規
4	観光フェア	品川区	—	10月29日 10月30日	「品川区都市型観光プラン」策定を記念し、「オールしながわ」による区民参加型のしながわ観光発信イベント	新規
5	大井町駅イルミネーション	品川区	—	10月29日 ～1月9日	昨年に続き大井町駅西口で実施。観光イベントが少なくなる冬期に向けて観光ポイントを創出	既存
6	海外日本博出展事業	品川区	—	11月18日 ～11月20日	ベトナム(ホーチミン)で開催された「Japan Vietnam Festival 2016」に出展。旅行会社との商談も含め、しながわ観光をPR	既存
7	目黒川イルミネーション	品川区	—	11月18日 ～1月9日	以前から地域で実施されている「目黒川みんなのイルミネーション」と連携して点灯区間を延長、冬期の観光ポイントを拡充	既存
8	西小山イルミネーション	品川区	—	2月10日 ～3月20日	西小山駅前において近隣商店街と連携してイルミネーションと商店街イベントによる事業で冬期に向けて観光ポイントを創出	新規
9	観光大使任命式	品川区	—	2月13日	区の観光イメージ周知のため人気キャラクター「シナモロール」を観光大使に任命。子どもたちとのふれあいイベントも実施	新規
10	劇団員と行く しながわ運河クルーズ	品川区・しながわ観光協会	—	5月15日	「しながわ」らしい観光スタイルの提案:区内に稽古場がある劇団(SET)の協力により身近な観光資源を観光コンテンツに	既存
11	東海道品川宿 しながわみやげめぐり	品川区・しながわ観光協会	—	6月25日	「しながわ」らしい観光スタイルの提案:歴史のある旧東海道において身近な観光資源を観光コンテンツへブラッシュアップ	既存
12	喜多能楽堂と百段階 で日本文化体験	品川区・しながわ観光協会	—	10月10日	「しながわ」らしい観光スタイルの提案:区内の能楽堂との連携により身近な観光資源を観光コンテンツへブラッシュアップ	既存

13	2016 つまみ食いウォーク	品川区・しながわ観光協会	—	11月26日	商店街と連携した集客イベントにより商店街、町のにぎわいと観光客を誘致	既存
14	早春の東海道 品川宿 落語の世界を歩く	品川区・しながわ観光協会	—	3月4日	”しながわ”らしい観光スタイルの提案: 区内在住の落語家の協力で身近な観光資源を観光コンテンツへブラッシュアップ	既存
15	海外旅行博出展 (タイ・バンコク)	品川区・大田区・川崎市・成田市 他	—	7月14日 ~7月17日	VJ地方連携事業の一環で羽田・成田地域の大田区・川崎市・成田市等と連携しタイ(バンコク)で開催されたTITFIに出展	既存
16	海外旅行博出展 (台湾・台北)	品川区・大田区・成田市・ 川崎市他	—	11月4日 ~11月7日	VJ地方連携事業の一環で羽田・成田地域の大田区・川崎市・成田市等と連携し台湾(台北)で開催されたITFに出展	既存
17	品川区・大田区連携事 業/東海道まち歩き	品川・大田地域観光まちづくり推 進協議会	—	3月5日	大田区と連携し、川崎宿から品川宿における東海道の観光コ ンテンツをブラッシュアップ	既存
18	品川区・大田区連携事 業/シーカヤック体験	品川・大田地域観光まちづくり推 進協議会	—	3月14日	品川区と大田区を結ぶ京浜運河を利用してシーカヤックにより 両区の水辺を身近に感じてもらうイベント	既存
19	品川区・大田区連携 事業/親子釣り大会	品川・大田地域観光まちづくり推 進協議会	—	3月19日	品川区・大田区の釣り船業者を活用し、両区の水辺の観光資 源を観光コンテンツへとブラッシュアップ	新規
20	東海道と菜の花 ウォーク	品川区・サンケイリビング新聞社	—	3月21日 3月23日	ガイドの説明を聞きながら、旧東海道に点在する神社仏閣や 運河沿いの菜の花などを見るまち歩き。しながわ観光マップ、 完歩証付き。	既存
21	天王洲から巡る 湾岸クルーズ	品川区・サンケイリビング新聞社	—	3月26日	窓の大きな船で天王洲からレインボーブリッジ、勝鬨橋、お台 場などをクルーズ。ボディバッグ、しながわ観光マップなどのお 土産付き	既存
22	しながわ運河まつり 2016	しながわ運河まつり 実行委員会、なぎさの会	後援	4月9日 4月10日	地域住民・団体によるイベント。アトラクション、運河クルーズ、 フードブース、フリーマーケットなどにより区外からも多くの集客	既存
23	ムサコフェス	武蔵小山商店街連合会 (武蔵小山商店街(振)・武蔵小 山一番通り商栄会・ 武蔵小山西口商店街(振)・小山 26号線通り振興会・ 親友会通り商店街・京栄会・富 士見通り睦会)	後援	4月17日	千葉県大多喜町のたけのこを、ムサコ出身笠原シェフ料理に よる「たけのこ汁」にして3,000名に無料配布	既存

24	とごすぽ！！	戸越公園駅前南口商店会・戸越公園中央商店街(振)	後援	4月17日	2商店街がスポーツ&グルメ対決を実施。ご当地キャラ参加によるスタンプラリーも実施	既存
25	品川・天王洲水上フードコート実験イベント	天王洲総合開発協議会	後援	5月7日 5月8日	地元舟運事業者の協力により民間棧橋と護岸エリア等を利用した水上フードコート、ボードウォークでのミニマルシェ、ミニクルーズ	新規
26	POPUP Portland in Tokyo 2016	ポートランド市開発局	後援	5月21日 5月22日	オレゴン州ポートランド市がPRのためにトクショーやマルシェ、ワークショップなどを開催	新規
27	天王洲アイル第一公園ライトアップ事業	天王洲総合開発協議会	後援	6月1日 ～3月31日	天王洲アイル第一公園の一部をライトアップし周辺施設の一体感を創出して来訪者の増加を図る	新規
28	天王洲・港南チャンネル夏フェス	一般社団法人天王洲・チャンネルサイド活性化協会	後援	7月15日 ～7月18日	東京海洋大学「海の日」記念行事、港南チャリティスポーツフェスタ、シネマキャラバン、ホントストリート夏フェス、天王洲運河まつりの5事業を連携開催	新規
29	五反田夏祭り	五反田仲通り共栄会・五反田駅前商店会	後援	7月24日	ブラジル総領事館はじめ区内の大使館による飲食販売、ステージを実施	既存
30	京浜運河エレクトリカルボートパレード2016	NPO法人東海道品川宿	後援	8月6日	電飾したボートのパレード、水辺のライティング、ナイアガラ花火とステージショーと昼間のEボート体験、羽田空港近くの周遊船による水辺イベント	新規
31	しながわ納涼祭	二葉中央商店会	後援	8月6日 8月7日	西大井広場公園での大盆踊り大会。日中は地域団体によるステージ、模擬店、地方物産も販売	既存
32	第4回大井東京夏マラソン大会	NPO法人 日本アウトフィットネス協会	後援	8月11日	2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、年齢・走力に合わせた種目を楽しんでもらい、夏の新たなエコツーリズムのひとつとする	既存
33	「大井町ーooimachi」オリジナルフレーム切手	株式会社JP三越マーチャндаイジング	後援	8月26日～	品川区大井町地域の良さを広めていくことを目的とし、大井町駅前、きゅりあん、東京総合車両センター等新旧名所を掲載したオリジナルフレーム切手を発行。	新規
34	大井どんたく夏まつり	大井銀座商店街(振)・大井サンピア商店街(振)・大井光学通り商店街	後援	8月27日 8月28日	大井町駅前を会場に盆踊り、ダンスコンテスト、スポーツフェス、ミュージックフェス、フードフェスを開催	既存
35	とごしぎんざまつり	戸越銀座商店街連合会 (戸越銀座商店街(振)・戸越銀座商栄会商店街(振)・戸越銀座銀六商店街(振))	—	8月27日 8月28日	全長1.3kmの商店街内で模擬店、ステージ、スタンプラリーほか、銀ちゃんをはじめとご当地キャラも大集合	既存

36	目黒のさんま祭り	目黒駅前商店街(振)	後援	9月4日	岩手県宮古市からのさんま7,000匹を炭火焼きにして無料配布。ほかにも産直販売や落語「目黒のさんま」を実施	既存
37	しろへびサミット inしながわ	しろへびサミット inしながわ実行委員会	共催	9月17日	山口県岩国市(特別天然記念物・しろへび)、群馬県老神温泉(大蛇みこし)と連携し上神明天祖神社と周辺で実施。近隣の商店街、店舗と連携。	新規
38	中延ねぶた祭り	中延商店街(振)	後援	9月17日	アーケード商店街内を「ねぶた」がハネト(踊り手)とともに運行。ほかにも飲食店フェアやステージを実施	既存
39	大井・大森夢フェア	桜新道商盛会	後援	9月22日	大森ベルポートを会場に子供たちを中心にしたダンスコンテストを実施	既存
40	しながわ宿場まつり	北品川本通り商店会・北品川商店街(協)・ 京急新馬場商店街(振)・青物横丁商店街(振)	—	9月24日 9月25日	旧東海道品川宿を会場に、花魁道中、江戸扮装をしながらの江戸風俗行列のほか模擬店やステージを実施	既存
41	第8回お台場 潮風マラソン	NPO法人 日本アウトフィットネス協会	後援	10月2日	品川区東八潮の潮風公園、お台場地区を会場に楽しくマイペースで走れるマラソン大会として夕方からのイブニングマラソンを開催	既存
42	京浜運河 Eボートリレー	品川・大田地域観光まちづくり推進協議会	後援	10月8日	品川区と大田区を結ぶ京浜運河を利用してEボートのリレーにより両区の水辺を探索し楽しむ親子イベント	既存
43	しながわ夢さん橋	大崎駅西口商店会	後援	10月8日 ～10月10日	大崎駅を中心に、青空バザール、ステージのほか山手線を貸しきった「ノンストップ夢さん橋号」を運行	既存
44	天王洲キャナルフェス2016～スーパーハロウィン～	一般社団法人天王洲・キャナルサイド活性化協会	後援	10月28日 ～10月30日	水辺の映画祭、フードコート、船上ライブ、ミクルーズ、ハロウィン仮装水上パレードなどを区観光フェアとシャトルバス、レンタサイクルで結び連携実施	新規
45	DAVID BOWIE is	DAVID BOWIE is 日本展実行委員会	後援	1月8日 ～4月9日	天王洲の寺田倉庫ビルを会場にアジアで唯一のデビッド・ボウイ展を開催	新規
46	ジャパン・フィルム・コミッション全国ロケ地フェア	ジャパン・フィルム・コミッション	出展	1月25日	全国自治体、関係団体と撮影時業者とのマッチングイベントに観光PRブースを出展	新規

47	大田・品川小学生対象の絵画イベント	東京急行電鉄株式会社	後援	1月27日 ～2月24日	区立小学1年生を対象に「50年後の未来、ぼくたち・わたしたちのまち」をテーマに絵画を募集。4月中旬頃から東急池上線・東京多摩川線車内もしくは東京モノレール駅構内に掲載予定	新規
48	天王洲・港南チャンネル2017 バレンタイン	一般社団法人天王洲・チャンネルサイド活性化協会	後援	1月27日 ～2月26日	運河イルミネーション、新東海道橋のライトアップ、ナイトクルーズ、屋形船を活用した水上フードコートを実施	新規



## 第1回 品川区観光振興協議会 議事概要

日時	平成28年6月17日（金）14:00～15:00	
場所	品川区役所 第2庁舎4階 災害対策本部室	
		
	会長挨拶	会議の様子
		
	会議の様子	
<b>議事次第</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 本部長挨拶</li> <li>3. 品川区都市型観光プランの概要について（資料1）</li> <li>4. 品川区観光振興協議会について（資料2）</li> <li>5. 品川区観光フォーラムについて（資料3）</li> <li>6. しながわ観光フェアについて（資料4）</li> <li>7. 今後のマスタースケジュールについて（資料5）</li> <li>8. その他</li> <li>9. 閉会</li> </ol>		
<b>配布資料</b>		
議事次第		
資料－1：品川区都市型観光プランの概要		
資料－2：品川区観光振興協議会要綱		
資料－3：品川区観光フォーラム開催概要		
資料－4：しながわ観光フェアについて		
資料－5：品川区都市型観光プラン マスタースケジュール		
<b>主な協議会内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品川区より、品川区都市型観光プランの概要、品川区観光振興協議会、品川区観光フォーラム、しながわ観光フェア、今後のマスタースケジュールについて説明を行い、意見交換を行った。</li> <li>・ 主な発言要旨は、以降に示すとおりである。</li> </ul>		

## 主な発言要旨

### (NPO まちづくり大井 理事長（代理：事務局長 加藤様）

- ・ 都市型観光ということで区外の人をターゲットにすることはもちろんであるが、区民や品川区に勤めている人に愛着や誇りをもってもらうことも重要である。
- ・ 予定している4つの部会（水辺活用部会、ショートトリップ推進部会、国際化対応部会、情報発信強化部会）では、区外の人に対する取組みを中心に検討していく予定であると思うが、区内の人の地域に対する愛着、誇り—シビックプライドを醸成するような取組みも合わせて検討していく必要がある。

### (品川ビジネスクラブ 理事長 石島委員)

- ・ 観光のシステムは今後重要なテーマになってくると思うが、部会の中では、しながわ観光や生活者の満足度の向上に情報技術を活用した方策を検討していく予定があるか。
  - （鈴木文化観光課長）情報発信強化部会や国際化対応部会では、単なる観光コンテンツの検討だけでなく、システムチックな取組み、体制、ツール等についてご意見をいただきながら検討していきたいと考えている。

### (品川区長 濱野会長)

- ・ 情報発信の強化は重要である。今は若い人だけでなく、お年寄りもスマホを使う時代であり、アプリやデジタルサイネージも活用して情報発信を行うことは非常に重要であるので、ぜひ情報発信強化部会で練っていただきたい。

### (東京モノレール 浜松町駅長 山野委員)

- ・ すばらしい計画ができたが、それをどう具現化していくか、現場でどう情報を共有して発信していくかが重要である。東京モノレールについていうと、地元の人にとっては、単に通過していくだけの乗り物で、良さに気付いていない。水辺の魅力を見直し、情報の共有、発信を基軸に、品川区全体に広げていくことが重要である。
- ・ 東京モノレールでは、天王洲アイルから目黒駅までの駅からハイキングを実施し、10日間で3500人に参加いただいた。交通事業者として、地域を結ぶだけでなく、人をつなぐことも重要な役割と考えており、キャナル（運河）とブリッジ（架け橋）を掛け合わせたキャナリッジという言葉をつくって頑張っているの、一緒に楽しいしながわを目指していければと思う。

### (天王洲総合開発協議会 会長会社代表 中川委員)

- ・ 区内では様々なイベントが行われており、天王洲でも多数実施しているが、すべて点で行われているような状況である。品川区は水辺でつながっているまちであるので、イベントも船で移動して地域全体で一緒になって実施できると良い。
- ・ 現在、国土交通省、東京都で横浜や羽田、秋葉原を結ぶ舟運社会実験を実施しており、天王洲も中間地点として乗船場所になっているが、宣伝が十分にされておらず天王洲からの乗船者が少ない。現在は実験期間の中間地点であり、秋にも実験が予定されているため、ぜひご協力いただければと思う。

- ・ 天王洲地域には、天王洲銀河劇場や JTB の本社、テレビ東京のスタジオなどがある。天王洲総合開発協議会は、水辺活用部会ということで名前が入っているが、こういう方々にも参加していただくと、天王洲地域として、ショートトリップ推進部会や国際化対応部会にもご協力できると思う。

**(旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会 会長 堀江委員)**

- ・ 水辺はしながわにとって重要な資源である。舟運事業もちろんだが、運河に近い小学校でカーヌー教室を行うなど、区民が水辺を楽しむ文化を育てていくことも重要である。今から取り組んで 10 年、20 年後に表れてくることだと思うが、そういうことについてもぜひ検討していただきたい。

**(品川区長 濱野会長)**

- ・ 区民自身がしながわを楽しむことは重要であり、現在は情報発信が点であることが課題である。この観光振興協議会は面的な広がりをもつうえで重要な役割をもっており、この場にいろいろな情報を集めて、区内全域に広げていくような体制をつくっていきたいと考えている。
- ・ 区内には栈橋がいくつかあるが、これも充実していきたいと考えている。

**(品川・天王洲運河ルネッサンス協議会 副会長 伊東委員)**

- ・ 区内には観光サインも含めて観光案内所が少ない。天王洲はポテンシャルもあり、すばらしい栈橋もあるが、そこに行くまでの誘導やそこでの案内がない。水辺も含め、区内のあちこちに観光案内所ができれば面的な広がりも出ると思う。

**(株式会社ヴァーリー国際エージェンシー 代表取締役社長 谷委員)**

- ・ 五反田に<sup>きじ</sup>雉子神社という神社があるが、海がきれいだった大昔は東京湾で行っていた形代流しを現在は箱根で行っている状況である。これを元に戻そうという動きがあり、今年は7月7日に試験的に五反田で行う予定である。これを基盤として、地元から発信していきたいと思う。

**(勝島・浜川・鮫洲地区運河ルネッサンス協議会 代表 貴田委員)**

- ・ 行政が本気を出して観光に取り組みはじめ、この協議会にも様々な分野の方が集まって、これから議論できることにわくわくしている。例えば、神社仏閣でお茶をたてる、花をいける、それを舟運でつなぐなど、たくさんの人にレポートしてもらえるような楽しいことをこのメンバーで楽しく議論していきたい。

以上

## 第 2 回 品川区観光振興協議会 議事概要

日 時	平成 28 年 12 月 12 日 (月) 15:30～16:30
場 所	品川区役所 第 2 庁舎 4 階 災害対策本部室



会長挨拶



会議の様子



会議の様子

### 議事次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 専門部会の活動の中間報告（資料 1）
4. これまでの観光関連の取組み・活動（資料 2～8）
5. 今後のスケジュール（資料 9）
6. 情報交換
7. その他
8. 閉会

### 配布資料

#### 議事次第

- 品川区観光振興協議会 委員名簿・オブザーバー名簿
- 資料－1：品川区観光振興協議会 専門部会の活動状況（中間報告）
- 資料－2：「品川区観光フォーラム」の開催結果について
- 資料－3：「しながわ観光フェア」の開催結果について
- 資料－4：しながわ旅本の発行について
- 資料－5：「品川区舟運社会実験（シナガワクルーズ）」について
- 資料－6：イルミネーション事業について
- 資料－7：目黒川の橋ライトアップ 実施状況
- 資料－8：まち歩き事業について
- 資料－9：品川区都市型観光プラン マスタースケジュール

### 主な協議会内容

- ・ 品川区観光振興協議会 専門部会のメンバーより、水辺活用部会、ショートトリップ推進部会、国際化対応部会、情報発信協会部会の活動中間報告があった。
- ・ 事務局より、これまでの観光関連の取組み・活動として、「品川区観光フォーラム」、「しながわ観光フェア」の開催結果、イルミネーション事業などについての報告があった。
- ・ 今後のスケジュールを確認後、出席メンバーによる情報交換を行った。主な発言要旨は、以降に示すとおりである。

## ■主な発言要旨

### (天王洲総合開発協議会 副会長会社 寺田倉庫株式会社 和田本氏)

- ・ 配付資料として「天王洲キャナルフェス 2017 春 企画概要」という資料を配布させていただいた。天王洲総合開発協議会では、春夏秋冬の各季節に天王洲でイベントを行っており、先日の秋のイベントは、しながわ観光フェアと連携させていただき、複数地区で連携してイベントを実施することの効果を感じた。
- ・ 来春 4 月 7, 8, 9 日に実施するイベントでは、新東海橋のライトアップ、水辺の映画祭、フードコート・ミニマルシェ、ミニクルーズ、船上ライブなどを予定しており、東品川海上公園で行われるしながわ運河祭りとの連携することを考えている。さらに、天王洲アイルの各施設や大井競馬場、しながわ水族館、御殿山のさくらまつりなど、他エリア、イベントとの連携の調整を進めており、エリア・イベント間の回遊性を高める船やシェアバイクなどの交通手段やガイドアプリなどのソフト策を考えている。
- ・ 本日はいろいろなエリアのみなさんにご出席されていると思うので、ご協力いただけるという方は、ぜひお声をかけていただきたい。
  - (鈴木文化観光課長) 和田本さんのご提案についてご協力できることがある方は、ぜひご協力いただきたいと思う。

### (旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会 会長 堀江委員)

- ・ 各部会の中間報告をお聞きして、それぞれ検討が進んでいると感じた。水辺活用推進は現在は舟運を中心に動いているが、掲げているテーマにもあるように、水辺に住んでいる人が水辺を楽しめるということも進めていきたい。今年の夏に、地元の人がやりたいことをコンセプトに「京浜運河エレクトリカルボートパレード」というイベントを行った。今後、大田区、港区と連携して、水辺を活用した大イベントを企画したいと考えているので、またご協力をお願いしたい。
- ・ また、ショートトリップ部会の報告にあった体験プログラムはすごく良いと感じた。お花、茶道など、誰かが先生となってすぐに品川で始められることはたくさんあるので、具体的にプログラムにしていくことが大事である。

### (スネークタウンマップ事務局 (上神明天祖神社) 齋藤氏)

- ・ 平成 25 年に旧地名が蛇窪村であること、上神明天祖神社で白蛇を祀っていることなどから、スネークタウンマップをつくり、町おこしを開始した。今年度は、品川区のシティプロモーション認定事業として、PR 動画の製作、岩国市の白蛇、大蛇神輿を招聘した白蛇サミットを開催し、大勢の参加者が集まった。ほかにも、品川区の認定土産として、蛇饅頭や岩国との共同開発商品も誕生した。イベントは一回きりではなく、年間を通して、東北復興支援事業として七夕線香花火ナイト、夏フェス、レゲエナイトなども開催し、毎月何かしら活動しようということでも盛り上がってきた。
- ・ また、東京福めぐりという企画で、台東区、中央区、港区、品川区から 2 つの神社が参画して、浅草から都営浅草線で観光客を各地域に周遊させようとする、下町巡りの目玉になるような取組みが 7 月 1 日からスタートし、半年で 3000 名ほどの方に参加いただいた。

- ・ この企画には、東急電鉄にもご協力いただき、荏原七福神にも参画しており、過去最高の参詣客だったと聞いている。東京福めぐり関係のデザインについては、新年度を目途に刷新し、スマホアプリでの道案内や英語版のものも追加される予定である。各地域のみならずとも様々な取組みを通じてつながりをもっていきたいと考えているので、何かしてほしいという提案をいただければ、ご協力していきたいと思う。

**(品川・天王洲運河ルネッサンス協議会副会長 (株式会社船清) 伊東委員)**

- ・ 本日、国交省と東京都で実施している舟運社会実験で作成した「船からみた東京」というパンフレットをお持ちした。このパンフレットには、すべてのルートが紹介されており、天王洲を発着するコースもいくつかある。天王洲では水辺の応援団ということで、船に乗った人は店舗での割引が受けられるようにしていた。昨日で社会実験は終わったが、品川区でも清掃作業所跡地に新たに栈橋ができる予定であるため、今後、大井ふ頭中央海浜公園、大井競馬場、しながわ水族館などと結んだルートが期待できる。

**■閉会の挨拶**

**(品川区観光振興協議会 副会長 跡見学園女子大学 安島博幸 教授)**

- ・ この品川区観光振興協議会には、今年から関わらせていただいている。これまでに都内のいくつかの区の観光計画にも関わってきたが、つくり放しになっているところも多い。本日のご報告をお聞きして、部会に分かれて活発な活動を行っており、大変素晴らしいと感じた。
- ・ インバウンドも大変増えてきており、昨年は2000万人、今年は2400万人前後、2020年のオリンピックの目標は4000万人、さらにその10年後は6000万人を目標ということになっている。訪日外国人が4000万人になると風景もかわると思うが、いま4000万人を目指しているいろいろなところが努力されている。
- ・ 先日、品川浦から舟運社会実験の船に乗り、橋のライトアップ、五反田周辺のイルミネーションを体験し、大変素晴らしい風景だと感じた。まだ、目黒川のすべてのところで見どころがあるわけではないが、素材としていろいろな可能性があると感じた。また、ものをみるときは飲食が付きものであるので、船に乗り、各所に立ち寄っておいしいものを食べる、温かいものを飲むということを組み合わせていくことが大事であると感じた。
- ・ みなさまの議論にもあったが、連携をするということは重要である。特に、この部会間の連携があるともっと素晴らしいものになると考える。隣接する区の連携も重要である。観光する人は区の境など意識しないため、雅叙園の桜などと連携できると素晴らしいと思う。ぜひ、目黒区、大田区、港区、江東区などとの連携を考えていただきたい。本日配付いただいた新しい観光マップであるが、残念ながら区内の範囲だけになっており、雅叙園が入っていないため、ぜひ隣接する区とのつながりが分かるようにしていただきたい。
- ・ 東京都の観光事業審議会の会長をしているが、年末に審議会が開かれることになり、今後、東京都の方針も出てくると思う。2020年まで4年を切ったので、品川区については、今の勢いを持続し、さらに加速していきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

以上



## 品川区観光振興協議会 第1回水辺活用部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第1回水辺活用部会を開催しました。

1回目の部会として、水辺活用に係る取組み状況と現状の課題を参加者で共有しました。

## 《開催概要》

日 時：平成28年8月4日（木）13:00～14:30

場 所：中小企業センター 3F 小会議室

参加者：12名（事務局、傍聴を除く）



## 《プログラム》

1. あいさつ
2. メンバー紹介
3. 検討の趣旨・スケジュール
4. 討議

テーマ①：水辺活用に係る現在の取組み状況と今後の予定

テーマ②：水辺活用に係る現状の課題



## テーマ①：水辺活用に係る現在の取組み状況と今後の予定

討議のテーマ①では、参加メンバーの自己紹介とともに、現在の水辺活用に関わる取組みの状況と今後の予定を紹介してもらいました。各組織、団体等の活動状況は、その場で1枚のカレンダーに記入していきます、品川区内の水辺活用の取組み状況をまとめて見られるようにしました。

## 水辺活用に係る現在の活動スケジュール

活動の種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	通年
①観光舟運				【観光協会】 目黒川桜クルーズ  【屋形船協会】 目黒川桜クルーズ	【観光協会】 目黒川運河クルーズ						【観光協会】 冬の桜クルーズ		【屋形船協会】 ・イベント協力 ・目黒川、日本橋川等各種クルーズ  【NPO目黒川五反田協議会】 電気ボート運航
②市民の水 上 活動 (Eボート、 カヌー等)			【しながわ花海道】 菜の花まつり						【しながわ花海道】 ・コスモスまつり (9/11) ・立会川美化活動				【しながわ花海道】 花海道整備(清掃、種まき)
③イベント等			【天王洲総合開発協議会】 運河プロジェクト ジョンマッピング	【天王洲総合開発協議会】 しながわ運河まつり	【天王洲総合開発協議会】 天王洲運河キャナル・フードコート (5/7-8)		【大崎エリアマネージメント+大崎・五反田タウンマネージメント】 目黒川夜市 (7/29-30)			【大崎・五反田タウンマネージメント】 ・ふれあいマルシェ ・水辺見学会	【大崎・五反田タウンマネージメント】 目黒川冬の桜イルミネーション		
その他の活動	【五反田地域街づくり協議会】 各組織と地域の問題を議論  【天王洲総合開発協議会】 国交省の舟運社会実験に合わせた地域の応援としての協力												
今後の予定 ・希望等	【天王洲総合開発協議会】 ・ボートワークでのオープンカフェ ・運河パトロール												



## 水辺活用に係る現状の課題

討議のテーマ②では、水辺活用に係る現状の課題についての話し合いを行いました。水辺の整備の必要性や水辺の規制緩和、水上のルール必要性、目黒川の水質改善などについての意見がありました。

### 「水辺に係る現状の課題」についての主な意見

- 水辺の課題は、船着場周辺の賑わい創出、待合室・トイレ等の施設整備、船着場までの誘導サインの整備である。特に、船着場までの誘導サインは船着場で統一したロゴマーク等があると良い。
- 羽田から浅草までは船で2時間半かかるが、2時間半乗っても楽しいと思ってもらえるように、事業者も努力しなければならないし、そのための環境整備も必要。官民の連携が重要である。
- 天王洲は、水辺やアートのまちとして景観形成やイベントに取り組んできたが、様々な規制をクリアするのが大変である。少なくとも区として水辺の賑わい創出に取り組むことを前面に押し出すことが必要。
- 水上バイク等のマナーが問題となっている。運河には法律・条例がなく、ルネッサンス協議会で注意喚起の横断幕等を掲示しているが、なかなか効果がでない。禁止区域等を定めることも必要だと思う。
- 運河についても目黒川についても管理者が中心となってルールづくりをしていくことが必要である。
- ルールは存在しているが、それが認知されていないことも問題である。
- 目黒川は雨が降ると白濁し、においが問題になっている。また、桜の木も古くなってきているので、景観も含めた環境整備が必要である。
- 勝島運河は親水護岸と聞いているが、実際には安全に水辺に近づける場所はない。バリアフリーも含めた環境整備が必要である。
- ボートやカヌー利用者の休息場所が必要である。船舶との桟橋の使い分けも考えなくてはならない。



話し合いの様子



## 総括

最後に、品川区都市型観光プラン策定時の専門部会、検討委員会の座長であった先生方にコメントをいただきました。



品川区都市型観光プラン  
専門部会 座長  
東京工業大学大学院  
情報理工学研究所 助教  
津々見 崇

- 舟運や水辺のイベントに来るお客さんは、わざわざ飛行機に乗って来るようなお客さんではなく、周辺の住民の方やお勤めの方だと思うので、これからイベントをやっていく際には身近なターゲットに重点的にアピールしていくのが良いと感じた。
- 昨年の会議でも話題になったが、水辺については様々な規制に縛られて、自由な発想で取り組みができないということが課題であると改めて実感した。
- 規制が当面の課題であると思うが、規制が緩和した際には、どういうコンテンツがあるのかということ、この会議で発展的に考えていけると良いと思う。たとえば、今日の議論では、中央海浜公園を環境学習に使えると良いというお話があったが、都市的でない自然化されている水辺の使い方のようなものも提案しても良いと思った。

- 水辺の賑わいや観光を考えていく際には、観光客やレクリエーションの人を考慮した新しいルールづくりが必要になると思う。この部会で提案していくことは、最終的に港区や大田区、東京都と連携して進めていかなければならなくなるので、かなり重要になると思う。
- イベント等の情報発信を隣の区まで届くようなかたちで行うと良い。隣の大田区にも60万人いるので、連携していないイベントでも隣区の人知っているくらいの情報発信をして、水辺の楽しさを知ってもらうことも考えると良い。
- 理想のコースや桟橋、理想の水辺の楽しみ方をもっと言ってもらって良いと思う。どうしても今の法律の中で考えがちになると思うが、「こういうことができたらいいな」、「そのための課題が何か」を少しずつ考えていくことがこの部会の役割の一つだと思う。



品川区都市型観光プラン  
検討委員会 座長  
東京工業大学大学院  
情報理工学研究所 准教授  
十代田 朗





品川区観光振興協議会 第2回水辺活用部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第2回水辺活用部会を開催しました。

水辺活用の目指すべき姿を共有し、次年度以降に取り組む先導的プロジェクトのアイデアを話し合いました。

《開催概要》

日時：平成28年11月24日（木）10:00～12:00

場所：中小企業センター 2F 中講習室

参加者：10名（事務局、傍聴を除く）



《プログラム》

1. あいさつ
2. 前回の振り返りと他部会の討議の内容
3. 本日の会議の進め方
4. 討議：先導的プロジェクトの内容について  
テーマ①：観光舟運の活性化  
テーマ②：区民の水辺利用・活動促進  
テーマ③：水辺を活用したイベントの充実



討議：先導的プロジェクトの内容について

次年度以降に取り組む先導的プロジェクトのテーマ「テーマ①：観光舟運の活性化」、「テーマ②：区民の水辺利用・活動促進」、「テーマ③：水辺を活用したイベントの充実」についてアイデアを話し合いました。

「テーマ①：観光舟運の活性化」についての主な意見

《区内棧橋の魅力アップのための環境整備について》

- 水辺の情報を提供する観光案内所があると良い。ポテンシャルはあるので、情報の見せ方が重要である。
- 五反田には、棧橋と水辺の観光案内所が整備される予定である。駅にも近いし、発信力もあると思う。

《舟運をセットにしたメニューについて》

- 旧東海道の近くから船に乗ることができれば、舟運と着付け、まち歩き等を楽しめるメニューができる。

《情報発信について》

- 電車も発達しているため、交通手段としての水上交通だけでは難しい。船をおりた先に何があるかなど、まちの魅力と一緒に発信していくことが必要である。
- 国交省、東京都、品川区で作成している舟運社会実験関連の印刷物などは、できれば統一できるとよい。

《舟運の活性化に向けて》

- ここから船に乗れるということを継続して発信し、広めていかなければ意味がない。
- 実験ではなく、まちぐるみでどういう方向でいくのかを決めることが重要であると思う。品川の水辺はこれからだと思うので、採算性の問題もあるが、費用の面をみなで出し合い、組織づくりができれば良い。
- 大阪のような中間支援組織があれば話が進むのがはやいと思う。

## 「テーマ②：区民の水辺利用・活動促進」についての主な意見

### 《ウォーキング、ランニング等を促すための環境整備について》

- 勝島運河周辺も八潮団地とからめて考えると、信号なしでウォーキングできるコースが可能である。
- 子供たちが自然、水辺を知らないので、身近に水辺が感じられるよう、環境を整えていけると良い。

### 《カヌーやボート等の利用快適性を高めるための環境整備について》

- 非動力船が常時利用できる棧橋がほかにもあると良い。
- SUP やカヤックのための艇庫があれば、利用しやすい環境になる。また、水辺の駐車場も課題である。
- 品川のように自然を感じられる水辺は少ない。中央海浜公園のアクティビティと組み合わせて、身体を動かせる水辺という認識が広がるとよい。

### 《水辺利用マナーの検討・啓発について》

- 目黒川は桜の時期にいろいろな船が上って来て、マナーを守っていない船が問題になっている。
- 民間も行政と一緒にパトロールをしなければいけない。近隣の迷惑になると利用自体ができなくなる。
- 天王洲にあるような水上の標識があると良い。また注意喚起だけでなく、案内の標識もあると良い。
- 動力船と非動力船のルール、水辺の使い分けができれば、港区、江東区にはない水辺になる。

### 《利用の手続きなどについて》

- 非動力船は、その都度申請が必要であり、その手続きで疲弊する。登録制で通してもらえると楽になる。

## 「テーマ③：水辺を活用したイベントの充実」についての主な意見

### 《オープンカフェも実施可能な水辺のテラス整備等について》

- 天王洲にあるようなボードウォーク上では、現状カフェなどはできない。品川区が率先して条例を変えてやってほしい。水辺のカフェは、景観的にもよく、実現すれば話題になると思う。
- ボードウォークに限らず、区の敷地を民間で活用できるようになると良い。

### 《情報発信について》

- 天王洲でもイベントを開催しているが、情報が確定するのが2週間前でそこからの広報が大変である。地域の協力も必要であり、行政や学校を通じて広報ができると良い。
- 情報は、地域センターにチラシ等をおいてもらえると広がるが、なかなか民間の活動のものは置いてもらえない。観光協会やこの協議会の承認があるということになれば、広報もスムーズになると思う。



総括

最後に、品川区都市型観光プラン策定時の専門部会、検討委員会の座長であった先生にコメントをいただきました。



品川区都市型観光プラン  
専門部会 座長  
東京工業大学大学院  
情報理工学研究科 助教  
津々見 崇

- 水辺の観光案内所の話が出たが、観光案内所は、水辺に限らず乏しい状況であるため、水辺から広げていくことは重要だと思う。船のルートだけでなく、陸の情報も広く発信し、水辺と陸地をつなげていくことが必要である。また、交通手段としてやっていくのは難しいという話があったが、陸での体験とセットでテーマ性のあるストーリーができていくと良い。
- 事業体をつくるという話もあったが、この協議会は、区内の団体の代表の方が結集している組織であるので、母体に適していると思う。広報についても、区の観光振興協議会であれば、地域センター等に置いてくれるようになるなど、区全体をまとめていく動きを考えていく必要がある。
- 水辺のルールづくりについては、担当部署で進んでいると聞いているが、その情報がこちらにも入ってこない、実態に合わないルールが出来上がってしまう。水辺部会として、包括的にルールをつくる提案を出してもよいと思った。
- サインや船着き場、オープンカフェ等のハードについては、これから行政の担当課にかけあっていく必要があるが、現在の一番の窓口は観光担当の方であるので、区の内部を動かしていくための戦略を考えていただければと思う。



## 品川区観光振興協議会 第3回水辺活用部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第3回水辺活用部会を開催しました。

前回の部会から話し合ってきた 次年度に取り組む「先導的プロジェクト」について具体的なアイデアを話し合いました。

## 《開催概要》

日 時：平成29年1月31日（火）13:00～15:00

場 所：中小企業センター 3F 中会議室

参加者：10名（事務局、傍聴を除く）



## 《プログラム》

1. あいさつ
2. 前回部会の振り返りと他部会の討議の内容
3. 討議：「先導的プロジェクト」の絞り込み
  - テーマ①：観光舟運の活性化
  - テーマ②：区民の水辺利用・活動促進
  - テーマ③：水辺を活用したイベントの充実
4. 今後の予定



## 討議：先導的プロジェクトの絞り込みについて

次年度以降に取り組みを推進していく「先導的プロジェクト」について、事務局で作成した素案を基に討議を行いました。その結果、頂いた意見を踏まえつつ5つのプロジェクトを推進していくことに決定しました。

## 「テーマ①：観光舟運の活性化」の先導的プロジェクトについて主な意見

## 《プロジェクト①：観光舟運活性化のための組織・体制づくり について》

- 棧橋や水面の利用者がバッティングしたときに、こういう組織があればスムーズに進むので良い。
- 観光舟運を活性化していくことになると、舟運事業者も本業があるので、船の数が足らなくなる可能性がある。段階的にでも区外の事業者も受け入れるような体制が必要である。
- これまでも運河ルネサンス協議会などでルールなどを話し合ってきた。既にある組織をもとにすると事業者や団体が広く集まるのではないかと。また東京都等も入って全体の方針を統一することも重要である。
- 多くの事業者や団体が関わることになる組織づくりは、上部組織の観光振興協議会と連携をとりながら進めていることが重要だと思う。
- （部会としての方針）舟運・水辺に係る既存の組織なども生かしながら、これらを束ねるような組織として、東京都等とも連携しながら組織・体制づくりを進めていく。

## 《プロジェクト②：舟運活性化のための環境整備 について（裏面に続く）》

- 環境整備は行政主導で実施して良いと思うが、維持管理については、民間の団体への委託なども含め、高いレベルの維持管理を目指すべきである。
- 天王洲や五反田に水辺の観光案内所があると良い。五反田さくらテラスのギャラリーはあまり利用されていないので、観光案内所などとしての活用もできると良い。

## 《プロジェクト②：舟運活性化のための環境整備 について（表面の続き）》

- 舟運も棧橋に乗客を降ろすだけでなく、観光バスのように下船した周辺地域を案内できると良い。
- これからは、棧橋だけでなく、棧橋のまわりに待合所などの施設が必須だと思う。
- 新設が可能であれば、目黒川や京浜運河の品川シーサイドのあたり等もう少し近い感覚で棧橋がほしい。
- （部会としての方針）棧橋や水辺の観光案内所を整備することで、水辺の拠点を形成する。

## 「テーマ②：区民の水辺利用・活動促進」についての主な意見

### 《プロジェクト③：水面利用のマナー・ルール等の検討 について》

- マナー・ルールの検討については、プロジェクト①の観光舟運の活性化に向けた組織の設立と同時進行で進めた方が良い。
- 現在、運河ルネサンス協議会でパトロールを強化しようとしており、4月頃から天王洲ピアを拠点に月2回のペースでパトロールを予定している。対象は主に水上バイクである。

### 《プロジェクト④：区民のための「しながわ水辺利用ガイド」の作成・発行 について》

- ガイドは、水辺をたくさん使ってもらいたい、という目的に即した、多くの人に手にとってもらえるような内容にすべきである。
- ガイドを作成する場合は、配付対象者等や発行部数をしっかり考えた方が良い。
- ガイドを作成しても、桜の時期に多く訪れる遠方からの個人の利用者には伝わらない可能性がある。ガイドを知らない人も、棧橋や水辺でガイドの内容が伝わるように工夫する必要がある。

## 「テーマ③：水辺を活用したイベントの充実」についての議論の結果

### 《プロジェクト⑤：水辺・水面を活用した連携イベントの実施 について》

- 天王洲・キャナルサイド活性化協会から来春開催予定の「しながわフェスウィーク」、なぎさの会からしながわフェスウィークと同時開催予定の「しながわ運河まつり」、旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会から昨年夏に開催した「エレクトリカルボートパレード」の報告があった。
- 周辺エリアや周辺のイベントとの連携を予定している「しながわフェスウィーク」には、「しながわ花海道」も協力したいとの意見があった。
- 区が実施した舟運社会実験に合わせて実施した橋梁のライトアップについては、地域から大変好評だったという意見があった。



総括

最後に、品川区都市型観光プラン策定時の専門部会、検討委員会の座長であった先生方にコメントをいただきました。



品川区都市型観光プラン  
専門部会 座長  
東京工業大学大学院  
津々見 助教

- 昨年末に社会実験の船で目黒川を下ったが、都内とは思えないような光景で、他ではまねできない都内随一の資源と感じた。しかし、船に乗ることが目的化しており、乗る前、乗ったあとのアレンジがされていない点が残念だった。
- 今後検討を加えるべきところとしては、船に乗る前後も楽しめるということを考えていけると良い。ショートトリップ、情報発信、国際化対応の部会と連携して、アイデアをかたちにできると良い。ぜひ発展させていってほしい。

- 今日の議論で出てきたアイデアについては、将来の水辺の需要増をにらんで、検討を続けていかなければいけない時期と感じた。
- ①陸と海の連携を進めること、②植物や鳥なども含めて水辺の領域を広めに考え、人々が水辺に親しみやすいようにウォーターフロントマネジメントを行うこと、③水辺のイベントをサイト等でまとめて発信することなど、3つの意味で既存の組織を基盤にした新しい組織ができると良いと感じた。



品川区都市型観光プラン  
検討委員会 座長  
東京工業大学大学院  
十代田 准教授

品川区観光振興協議会 第1回ショートトリップ推進部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第1回ショートトリップ部会を開催しました。初回の部会として、ショートトリップに係る取組み状況とショートトリップの主なターゲット、想定されるコンテンツについて話し合いました。

《開催概要》

日時：平成28年8月4日（木）15:00～16:30  
 場所：中小企業センター 3F 小会議室  
 参加者：18名（事務局、傍聴を除く）



《プログラム》

1. あいさつ
2. メンバー紹介
3. 検討の趣旨・スケジュール
4. 討議

テーマ①：ショートトリップに係る現在の取組み状況と今後の予定  
 テーマ②：ショートトリップの主なターゲットと想定されるコンテンツ

テーマ①：ショートトリップに係る現在の取組み状況と今後の予定

討議のテーマ①では、参加メンバーの自己紹介とともに、現在のショートトリップに関わる取組みの状況と今後の予定を紹介してもらいました。各組織、団体等の活動状況は、その場で1枚のカレンダーに記入していき、品川区内の水辺活用の取組み状況をまとめて見られるようにしました。

ショートトリップに係る現在の活動スケジュール

活動エリア	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	通年
①荏原エリア							・東京福巡り(上神明天祖神社) 7月からスタート	・夏フェス(8/7、上神明天祖神社)	・白へびサミット(9/17-18) 物産店・白へび展示・パレード等				・白へびのまち起こし(上神明天祖神社)
②目黒川沿川エリア (目黒・五反田・大崎)							・目黒川夜市(7/29-30、ふれあい水辺広場)	・大崎コミックシェルトア(8/12-14)		・ふれあいマルシェ(ふれあい水辺広場)	・冬の桜イルミネーション		・雑誌「新鮮大崎」等による歴史の掘り起こし、情報発信
③沿岸エリア (天王洲、品川宿、勝島運河等)		・デビットボウイ回顧展	・七福神巡り(1/2-15)	・運河プロジェクト ショッピング 東京モノレール 駅からハイキング (天王洲→目黒)	・七福神巡り(1/2-15)	・菜の花まつり(花海道)	・東海話しながわお土産巡り(6/25)	・天王洲キャナル 夏Fes(7/15-18) プロジェクション マッピング、写真展等	・品川宿場祭り(9/24-25)	・寺田秋祭り(10/28-30) プロジェクション マッピング、フードコート等	・商店街イベント		・城南五山巡りツアー ・紫陽花の植栽 ・品川宿交流館の運営 ・ポータルサイト作成、運営 ・花海道壁畫(清橋、様まき) 立正大学との連携
④大井町周辺エリア			・そばの花観覧スケッチ展	・美味シュランタルシェ(4/29-30)	・スポーツGOM拾い大会(5/29)	・パルマルシェ(6/3-5)		・大井どんた(夏まつり)(8/27-28)	・ビーチバレー大会+マルシェ(8/18)	・しながわ観光フェア(10/29-30)	・イルミネーション 点灯(10/29)	・大井町ハロウィン(10/30)	
その他(エリア共通等)	・観光資源の掘り起こし、観光マップ、観光コースづくり / 観光ガイド養成講座の実施 (しながわ観光協会) ・パルイベント等の実施 (区内商店街) ・区内商店街のマスター店、おすすめ商品の選定 (品川区商店街連合会) ・地域イベントの情報発信、告知協力 (交通事業者各社) ・1日乗車券の提供、路線図への地域観光情報の掲載 (東急バス) ・地域の商店街等への支援 (東急電鉄)												
今後の予定・希望等	・高速バス利用者への提供サービスの検討 (大崎エリアマネジメント) ・銀河劇場、建築倉庫など文化施設の活用 / ホードウォーク上のカフェ整備 (天王洲総合開発協議会) ・春節時期におけるホテル等との連携 (旧東海道品川宿) ・はちみつ採取・販売 / 復元した浜川砲台の活用 (しながわ花海道)												



## ショートトリップの主なターゲットと想定されるコンテンツ

討議のテーマ②では、ショートトリップの主なターゲットと想定されるターゲット別コンテンツについて話し合いました。

### 「ショートトリップの主なターゲットと想定されるコンテンツ」についての主な意見

- 旧東海道の観光客の場合は、日常生活を楽しみたい人と都心に出ていく人に二極化しており、特に香港や台湾の女性は日常生活を楽しむような旅行動向にあると思う。旧東海道の場合は、日常生活やお祭りなどのイベントが楽しめること、御殿山や天王洲等にも足をのびし易いことが売りになる。
- 自分たちが見せたいものと観光客は見たいものは違う。観光客が見たいものを良く知っているのは観光ガイドの方だと思うので、観光ガイドの方のご意見を参考にすると良いと思う。
- 観光協会では、区内に住んでいる外国人のライターさんに、外国人の目線で区内の面白い資源等について記事にしてもらうことを考えている。
- 受け入れる地域にお金が入るかどうかでターゲット層が変わってくると思う。たくさんの観光客に来てもらってもお金を使ってもらわなければ、地域の方々が一緒に盛り上がっていけない。
- 大井町駅周辺は、劇団四季の観劇に大勢の人が来るが商店街を利用する人は少ない。現在の要素や公共空間を活用して居住者や来訪者が楽しめるしかけがあると良い。
- 天王洲ではホテルに宿泊する外国人をターゲットとして、居合や茶道など文化体験型のコンテンツを楽しんでもらえるようにしている。
- ショートトリップの前提は個人が面的に回遊するイメージか。団体などのまとまったニーズはどうしても点的になってしまうのではないか。



話し合いの様子



## 総括

最後に、品川区都市型観光プラン策定時の専門部会、検討委員会の座長であった先生方にコメントをいただきました。



品川区都市型観光プラン  
専門部会 座長  
東京工業大学大学院  
情報理工学研究所 助教  
津々見 崇

- ショートトリップの最終形の1つとして、着地型の旅行商品のようにツアーとして成立して、事業性を持つものが考えられる。また、楽しんでくれる人が増えるならば、今ある100のコースを200に増やす方法もあると思う。目指すところは今後考えていけると良い。
- アピールしたい資源を区外の方に受け入れてもらえるようにするには、資源をつなぐストーリーも重要である。
- 鉄道事業者やバス事業者の方の関わり方としては、広域のトリップとして周辺地区と連携したトリップの提案などがあっても良いと思う。
- 観光客層やニーズやマーケットについての情報は、観光ガイドの方が一番お持ちだと思うので、今後そういう情報を提供していただけると発想のヒントになると思う。

- ショートトリップは街中を歩くので、商店街や住宅街も関わってくる特殊性がある。今後、まちづくり的に、新旧の観光資源のポイント等を発掘したり整理したりする必要がある。
- 品川区は観光地ではないので、観光まちづくりにいかに繋げていくかが重要になると思う。その場合、まち側の人が見せたいものを見せるという主体的な姿勢も必要である。
- そのために、ガイドや宿泊業の方から現在どのようなものが観光されているかを教えていただき、見せたいものを見せるとい、ニーズとシーズを照らし合わせていくような作業が必要である。
- そういう意味で、まだまだ皆さんに眠った観光資源や楽しみ方についてご意見を頂いて、ストーリーを作っていく作業が必要になってくると思う。



品川区都市型観光プラン  
検討委員会 座長  
東京工業大学大学院  
情報理工学研究所 准教授  
十代田 朗

**品川区観光振興協議会 第2回ショートトリップ推進部会を開催しました**

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第2回ショートトリップ部会を開催しました。第2回は、湾岸エリアと内陸エリアに分かれ、各エリアにおけるショートトリップのアイデアについて話し合いました。

《開催概要》

日 時：平成28年11月24日（木）14:00～16:20  
 場 所：中小企業センター 3F 中会議室  
 参加者：12名（事務局、傍聴を除く）

《プログラム》

1. あいさつ
2. 前回の振り返りと他部会の討議の内容
3. 本日の会議の進め方
4. エリア別のショートトリップのアイデア出し  
 ⇒内陸エリア、湾岸エリア



**エリア別のショートトリップのアイデア出し**

内陸エリア、湾岸エリアに分かれ、それぞれショートトリップのアイデアについて議論しました。

「内陸エリア」のショートトリップについての主な意見

《資源・アクティビティに関わるアイデア》

神社体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗派に分かれるお寺よりも神社の方が可能性が高い（まとまりやすい、スピードある）</li> <li>・神社でのお祓い体験、みそぎ体験、巫女体験等 ⇒ 単発的（月に1回程度）であれば可能</li> <li>・神社体験とセットで地元商店をめぐること考えられると良い</li> <li>・お祓い+お話し+ランチ+音楽など、複数の組み合わせが大事</li> </ul>
品川区ならではの歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品川ならではの文化、伝説を発掘し、資源化してはどうか</li> <li>・地名や産業等を活用する</li> </ul>
エンターテイメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お座敷体験、鉄火場体験、屋形船ライブの復活なども考えられる</li> </ul>

《地域に関わるアイデア》

大崎・五反田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミケに行く人の5%（=5,000人）に大崎で楽しんでもらうことを考える</li> <li>・品川野菜（居木橋かぼちゃ等）を食べられる店があると良い</li> <li>・大崎の歴史、逸話を活かす（ポトマック川の桜・セメダイン・日本で初めて飛行船が飛んだ等）</li> </ul>	
大井町	食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B級グルメでアピールしたり、お酒のイベント（バル）をもっと実施する</li> <li>・東小路等の路地は面白いが、災害時の安全性等で難しい面もある</li> </ul>
	劇団四季	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季のお客さんをターゲットにしたカフェ等があると良い</li> <li>・四季劇場と連携した出演者が来るカフェ等があると良い</li> </ul>
	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道を活用する</li> </ul>
	歩く・巡る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者ネットワークづくりをする</li> <li>・「シナモンを探せ！」などしなもロールを活用したまちあるきをする</li> </ul>

## 「湾岸エリア」のショートトリップについての主な意見

### 《湾岸エリアのショートトリップの起点》

- 品川には様々な目的で人が訪れ、通過・乗換えも多いため、ショートトリップのチャンスはある。

外国人	品川駅／羽田空港／成田空港ターミナル 1.2.3／青物横丁駅／マリオットホテル（リムジンバス停）／品川宿入口（バス停）／大井町ヨーカ堂前／問屋場ゲストハウス前／大崎高速バス停／天王洲アイランド／国際展示場／国際フォーラム
日本人	京急北品川駅（主に旧東海道のまちあるき目的）

### 《資源・テーマ・コースに関わるアイデア》

資源	水辺	屋形船、しながわ花海道、水族館、競馬場、自然が体験できる水辺、観察会 天王洲アート、海洋大学ミュージアム、立会川のボラ
	旧東海道	歴史、浮世絵、品川宿交流館、昔ながらの暮らしぶり、ローカルなこと お土産を売る店が少ないことが課題
	歴史	坂本龍馬、浜川砲台、品川縣ビール、黒澤明、鈴ヶ森刑場
	その他	マリカー
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幕末の歴史は活用できる</li> <li>● 新馬場、青物横丁など、地名が面白いので活用できる</li> <li>● 歴史館と水族館の組み合わせなど、施設の連携も必要</li> </ul>	

### 《今後の課題》

- 歴史だけではなく、若い人にも向けた売り方を考えていく必要がある。（発信したいものとお客さんが求めているものは違う。）
- ビッグデータ等を活用したコースやプランが考えられると良い。
- 伝え方が大事である。「猿でも分かる⇒2度目に知る⇒私だけが知る」という流れが重要。



各グループの議論において、ショートトリップの具体的なアイデア以外に、課題として出てきたことを以下に整理します。

### ショートトリップの推進に向けた課題

#### 《コンテンツづくり》

- ニッチな需要をいかに取り込んでいくかが重要。
- 複数のコンテンツに組合せを考え、地区をめぐるしかけが必要。（ex.食+宗教+音楽+歴史等⇒パッケージ商品）

#### 《組織・体制づくり》

- 将来的に旅行商品をつくるにしても、マッチングサービスをつくるにしても、ショートトリップを運営・企画する組織が必要。
- 人材のピックアップ（教える人、インストラクター）、仲間を増やしていくことが大事。
- 現在の人材（ガイドさんなど）の後継者も必要。世代交代に対応しなければならない。

#### 《本質的な課題》

- 関係者の立場や視点（※）によって、プロジェクトの方向性が変わってくるため、それらを両立させる方法もしくはいくつかのバリエーションが必要になる。

※地域振興の視点、地域コミュニティ・生活者の視点、旅行産業の視点、来訪者の視点



## 品川区観光振興協議会 第3回ショートトリップ推進部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第3回ショートトリップ部会を開催しました。第3回は、前回部会で議論した「しながわショートトリップの基本的方向性」を確認した上で、次年度に取組む「先導的プロジェクト」について話し合いました。

### 《開催概要》

日 時：平成 29 年 1 月 31 日（火） 15:30～17:00

場 所：中小企業センター 3F 中会議室

参加者：14 名（事務局、傍聴を除く）



### 《プログラム》

1. あいさつ
2. 前回部会の振り返りと他部会の討議の内容
3. 討議：次年度 先導的・重点的に取り組む「先導的プロジェクト」  
プロジェクト①：ショートトリップを運営・企画する中核組織づくり  
プロジェクト②：「しながわショートトリップ」のイベントでの試行

## しながわショートトリップの次年度以降の実現に向けて

討議の前に、これまでの議論に基づく「しながわショートトリップの基本的方向性」をメンバーで再確認しました。また、メンバーから地域で実施している取組みについての報告もありました。

### しながわショートトリップの基本的方向性（第2回部会の内容の再確認）

- ◆観光・散策ルートは既往の観光マップやパンフレット等で紹介されているため、従来の観光プログラム等とは異なる切り口で、品川らしい新たなショートトリップ（これまでにない短時間の観光プログラム）を目指す。
- ◆単に観光資源を巡るのではなく、「体験」「学」「参加」といった+αの魅力を有する短時間の観光プログラムの充実を図る。

### 地域における連携の取組み内容の報告

- 「2017年正月期 荏原七福神×東急電鉄 連携施策」の結果について、東急電鉄とスネークタウンマップ事務局から報告がありました。
- （報告内容）荏原七福神について、交通事業者と地域が連携して取組み駅や車内での広報、スタンプラリーのパンフレットを配布した結果、参拝客や来街者が増加した。



次年度以降に取組みを推進していく「先導的プロジェクト」について、事務局で作成した素案を基に討議を行いました。その結果、頂いた意見を踏まえつつ、2つのプロジェクトを推進していくことに決定しました。

### プロジェクト①：ショートトリップを運営・企画する中核組織づくり についての主な意見

- 組織づくりは悪い事例を含め事例調査をした方が良い。組織ありきでなく、ショートトリップの試行と並行でした方が良い。
- 事例調査は重要だが、他地域での成功事例が品川でそのまま成功するとは限らないので注意が必要である。
- 品川の地域には、自分の思いで活動している人も多い。個人レベルの小さい単位の活動や事業者とまちをつなぐ調整役が中間組織の役割であると思う。
- ショートトリップは、まちにストーリーがないと成り立たない。品川は知名度もあり、人を受け入れる土壌もあるが、ブランドについて考えていない。ストーリーを確立・共有し、個々が活動することが重要である。
- 神奈川県では県内の商店街を巡るツアーを実施している。主催は商店街や旅行会社であるが、商店街連合会が受付等をしており、中核組織のようになっている。まちでやりたいことのサポートをするのが中核組織の役割だと思う。

### プロジェクト②：「しながわショートトリップ」のイベントでの試行 についての主な意見

- (観光協会からの提案) 観光協会では、これまで様々な「まち歩きイベント」を開催してきたが、次年度は、こうした「まち歩きイベント」の開催にあわせて、体験型ショートトリップを試行的に実施したいと考えている。具体的内容については、例えば、ものづくり体験、神社体験、食べ歩き等が想定されるが、皆さんからご意見やアイデアを頂きながら検討していきたい。イベントの試行は、7月、11月の2回程度開催できればと考えている。また現在、区内の体験・学習等の先生・講師が出来る人材リストを調査・整理している。
- 試行ということだが、将来的には民間事業者が手を出そうと思うような仕組みを考えなければいけない。投資額を回収できる仕組みがないと、協会から民間への移行は難しいと思う。
- ガイドとして、ショートトリップそのものを行っているが、外国人に向けては正月プランなどもあっても良いと思う。お参りをして羽根突きをするなどがあると楽しい。品川でなければできないことを考えたい。
- 七福神めぐりは、東急電鉄に協力いただけたことで、効果が立証された。点ではなく面で実施するには、交通機関との連携が必要になってくる。
- 東急バスでは、過去に実証実験で乗り合いバスを走らせたことがあるが、事業採算等の面で実験のみとなった。
- 京急バスでは、1日乗車券を販売しているが、路線が臨海部であることもあり、現在はビジネスユースの方が多い。
- 4月7～9日に天王洲地域を中心に「しながわフェスウィーク」という連携イベントを実施予定である。



総括

最後に、品川区都市型観光プラン策定時の専門部会、検討委員会の座長であった先生方にコメントをいただきました。



品川区都市型観光プラン  
専門部会 座長  
東京工業大学大学院  
津々見 助教

- 観光協会から、試行的にショートトリップを実施してみようというご提案をいただいたが、個別ではなく、集合体として協力して進めていくという点で新しい。進めていくうえでは、観光協会に完全に任せるのではなく、この部会の参加者で協力して実施する事が重要。
- 試行してみると、失敗するもの、儲かるもの、色々出てくるかもしれないが、マーケット調査という側面も含めて、まずはデータを取って積み重ねていくことが重要である。
- 水辺部会では、船に乗る部分は取組みが進んできたが、前後の陸地の部分をもっと工夫できると感じている。先の話になると思うが、ぜひ連携して船と陸地の連携も実現してもらいたい。

- ショートトリップは、観光に携わる人とそうでない人が連携することで実現する、新しい観光だと思う。アイデアの実現は、最初はイベントからだと思う。イベントを実施することで、品川に興味をもつ人や規制の状況などを確認しながら進めていくと良い。
- ショートトリップのような取組みは、基本的には儲からないものだと思うが、どちらかというコミュニティのメンテナンスを進めていくことに力点を置くと良いと思う。各種体験プログラムの先生や講師が、これを生きがいにするようになればよいと思う。
- 次年度以降も、視察等も交えて、様々なアイデアを出して行って実現してもらいたい。



品川区都市型観光プラン  
検討委員会 座長  
東京工業大学大学院  
十代田 准教授



品川区観光振興協議会 第1回情報発信強化部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第1回情報発信強化部会を開催しました。初回の部会として、情報発信に関する現在の取り組み状況と情報発信強化にあたっての課題について話し合いました。

《開催概要》

日 時：平成28年10月6日（木）10:00～11:30  
 場 所：中小企業センター 3F 小会議室  
 参加者：13名（事務局、傍聴を除く）

《プログラム》

1. あいさつ
2. メンバー紹介
3. 検討の趣旨・スケジュール
4. 討議

テーマ①：情報発信に関する現在の取り組み状況と今後の取り組み予定

テーマ②：情報発信強化にあたっての課題



テーマ①：情報発信に関する現在の取り組み状況と今後の予定

討議のテーマ①では、参加メンバーの自己紹介とともに、情報発信に関する現在の取り組みの状況と今後の予定を紹介していただきました。

《各団体の情報発信に関する取り組み状況（1/2）》

団体	情報発信に関する取り組み
しながわ観光協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページによる情報発信（設立当初から数回改定）</li> <li>・観光プラザにおけるパンフレット等の配布、来訪者の対応</li> <li>・観光アプリの開発</li> </ul>
天王洲総合開発協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページによる天王洲地域の情報発信</li> <li>・地域におけるイベントの企画・運営（年4回実施）</li> <li>・（チャンネルサイド活性化協議会で）水辺のプロモーション動画を作成中</li> </ul>
旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページによる品川宿周辺のイベント情報等の発信</li> <li>・品川宿交流館におけるパンフレット等の配布、来訪者の対応</li> </ul>
東京臨海高速鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅コンシェルジュによる外国人観光客等の案内対応（10月より試行）</li> <li>・多言語を含めた案内サインの改定を予定</li> </ul>
NPO まちづくり大井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページによる大井町地域、商店街の情報発信（リニューアル予定）</li> <li>・大井町地域、商店街振興のためのイベント企画・運営</li> </ul>
北品川郵便局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品川区を紹介する記念切手の作成、販売</li> <li>・直近では、新品川百景を紹介する記念切手を作成予定</li> <li>・郵便局における地域の案内</li> </ul>
品川ビジネスクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス創造コンテストの開催（区と共催）を通じた産業都市としての発信</li> <li>・子どもを対象とした3Dプリンター教室等、ものづくりイメージの発信</li> </ul>

## 《各団体の情報発信に関する取組み状況（2/2）》

団体	情報発信に関する取組み
東京商工会議所	・商工会議所ホームページにおける地域資源情報の発信（地域の宝ネット）
株式会社ハーツアンドマインズ	・地域情報誌「月刊しながわニュース」、「月刊おとなりさん」の発行
ケーブルテレビ品川	・ケーブルテレビの番組による地域の魅力発信 ・ホームページ、アプリ、紙媒体等、様々な媒体による情報発信 ・地域（世田谷区、二子玉川）におけるイベントの企画・運営



## テーマ②：情報発信強化にあたっての課題

討議のテーマ②では、情報発信強化にあたっての課題、アイデアについての様々な意見が出ました。

### 「情報発信強化にあたっての課題」についての主な意見

- スマートフォン用のアプリを作成したが、ダウンロード数が増えない。ツイッターやインスタグラムなど、個人が情報発信の主体になっている現代の情報発信に対応できていない。
- 情報の整理、チラシの整理ができていない。来訪者がほしい情報をすぐに手にできる状況でない。
- デジタルサイネージなどの対応はぜひ区にお願いしたい。
- 近隣の施設等との連携ができていない。連携するにしても、発信する情報の準備ができていない。
- ホームページはあるが、情報収集が大変で情報の更新ができない。高齢の方はIT等に苦手意識が多い。
- ホームページなどのツールはあるので、情報の出し方、見せ方が重要になってくる。
- ホームページなどは、品川区に来ようと思っている人への情報発信になるが、目的なくどこかに行こうと思っている人への情報発信ができていない。



話し合いの様子

### 「情報発信強化にあたってのアイデア」についての主な意見

- 地域の子どもたちが自分のまちのことをよく知らない。子どもたちが観光案内できるように、地域について勉強する機会が増えると良い。
- 品川区の産業資源をもっと発信し、産業観光、都市観光へつなげられると良い。
- 「品川区には何も観光資源がない」と言わない方がよい。観光は話題性、ニュース性であるため、ランキング等を活用して、うまく話題をつくれるとよい。品川のNO.1を売り出してはどうか。
- スマートフォン用のアプリは、防災・防犯などの必要性のあるコンテンツと合わせると良い。
- 様々な媒体をもつ企業ともっと連携して情報発信すると良い。見方によっては営業もメディアになる。
- 観光資源の発掘コンテストを実施してはどうか。品川に来たことがない人、外国人など、違う視点を取り入れることで、新たな資源が見つかると思う。
- 区内で各種撮影が行われることも多い。フィルムコミッションを強化することも考えられる。



## 総括

最後に、品川区文化観光課 鈴木課長からの総括がありました。

- 本日は、情報発信の拠点である観光協会をはじめ、地域で実際にいろいろな取組みをされている団体の方、違う業種であっても観光に絡むからむ活動をされている団体の方、産業という意味で観光に絡む団体の方、まさに情報発信を行っているマスメディアの方にご参加いただいた。
- それぞれ団体の情報発信の取組み、課題などについてお話しいただいたが、このような部会場で共有、連携することによって、単独の取組みの効果を相乗効果で発展させていければと思う。区は、みなさんの取組みをつないだり、支援することをしていきたい。
- 次年度以降は、みなさんで話し合っ必要なるものを調整したり、協力体制のラインを活かして実際に事業に取り組んでいくなど、様々な展開が考えられる。次回以降は、もう少し具体的なテーマについて議論できればと思う。



品川区観光振興協議会 第2回情報発信強化部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第2回情報発信強化部会を開催しました。「情報発信強化」に関する品川区の取組み状況・今後の予定を確認し、情報発信の具体のあり方について話し合いました。

《開催概要》

日 時：平成 29 年 2 月 3 日（金） 10:00～12:00

場 所：中小企業センター 3F 大会議室

参加者：8 名（事務局、傍聴を除く）



《プログラム》

1. あいさつ
2. 前回部会の振り返りと他部会の討議の内容
3. 討議

テーマ①：区内のイベント情報等の一元的集約・発信について

テーマ②：フィルムコミッションの取組みについて

テーマ③：その他、情報発信のあり方について



テーマ①：区内のイベント情報等の一元的集約・発信について

テーマ①では、観光協会から来年度にホームページのリニューアルを予定しているとの報告があり、その具体のアイデアについて様々な意見が出ました。

「区内のイベント情報等の一元的集約・発信（観光協会HPのリニューアル等）」についての主な意見

- 情報の収集は大変である。各地域では、ローカルな情報を集めて発信するだけでも精一杯で、多面的にやるのは難しい。各地域がアップした情報が1つのサイトにリンクで集約されるような、RSSのような連携のしくみがあると良い。
- 区や協会が独自に取材した記事をみなさんが使えるようにする、共同通信社のような役割をしていただけると良い。
- 協会のホームページに情報を集約するとなると、各団体がフォームに投稿した情報をまとめて配信することになると思うが、文章のチェックや写真等の権利の問題は気をつけた方が良い。
- 4月7～9日に予定している「しながわフェスウィーク」でも専用ホームページを立ち上げる。イベント情報だけでなく、区内の観光情報も提供したいが、観光協会の観光スポットのページにリンク、もしくは情報提供などのご協力をいただくと有難い。
- 紙とWEBでは、情報量もスピード感も違う。情報の受け手側には、紙の情報も重要であるので、並行して情報発信を進めてほしい。
- せっかくホームページで情報を一元化するのであれば、イベント予定の一覧などを印刷し、地域のフリーペーパーなどに折り込んで配付することはできないか。
- チラシもWEBも、民間向けに分かりやすいパッケージがあれば良い。民間は、効果を知りたいので、イベント等を告知したい場合、チラシをどこにどれくらい配付すればどれくらいの効果があるか、目安や指標があると良い。ホームページの閲覧数についても可能ならば公開することも考えられる。



## テーマ②：フィルムコミッションの取組みについて

テーマ②では、区から来年度以降、フィルムコミッションの強化に向けて積極的な情報発信や撮影スポットの発掘に取り組んでいく予定との報告があり、その具体のアイデアについて様々な意見が出ました。

### 「フィルムコミッションの取組み」についての主な意見

- 大崎でフィルムコミッションに取り組もうとしたことがあったが、撮影許可の手続きが難航するなど、ハードルが非常に高かった。区や文化観光課を通じて占用や手続きがスムーズに進むようになると良い。
- 撮影等のための占用には、住民の協力も不可欠である。シン・ゴジラの撮影のときも、地元の協力があり、警察の許可がおりたと聞いているので、住民の理解と協力も必要である。
- 撮影側の制作会社等としては、撮影したい場所の検索よりも、占用手続き等の窓口がばらばらであることが問題であると聞いている。フィルムコミッションに本気で取り組んでいるところは、占用手続きの窓口を一括化やロケ弁の販売、エキストラの手配など、収益を上げる仕組みができています。
- 区内の撮影場所の発掘には、広告代理店などがつくると良い。また、観光課だけでなく、他の課も連携してしながわ百景なども生かせれば良いと思う。
- 天王洲では、シーフォートが熱心にフィルムコミッションに取り組んでいる。今後、天王洲総合開発協議会全体で取り組もうとしているが、撮影への立ち合い等マンパワーが必要になることが課題である。



## テーマ③：その他、情報発信のあり方について

テーマ③では、その他の情報発信のあり方について意見交換を行いました。

### しながわ観光大使 についての主な意見

- (区より報告) 区ではシナモロールを観光大使に任命し、観光情報の発信を強化していくことが決まった。
- せっかく観光大使という名前がつくので、区主催のイベント以外にも区内で開催する大きいイベントで活用させてもらえると良い。難しいかもしれないが、区内の他のキャラクターともコラボできると良い。

### 交通事業者と連携した情報発信 についての主な意見

- JR東日本の場合、駅構内のポスター等であれば駅長の判断で貼ることができる。特定の商店や個人の宣伝は難しいが、地域のイベント等であれば、沿線地域のイベント等も含めて協力できると思う。
- 冬の桜イルミネーションのポスターを大崎駅に貼って頂いた。今後も協力いただくと有難い。

### SNS を活用した情報発信 についての主な意見

- SNS は個人の情報発信なので、突拍子もない情報でないと拡散は難しい。
- Twitter、Instagram、Facebook などツールは様々であるが、全て同時並行で情報発信しても効果はない。コンテンツに対する相性を考えてSNS を使い分けた方が良い。

### 区内の子どもたちへの情報発信 についての主な意見

- 旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会では、「しながわっこプロジェクト」として、近隣の小学校を対象に、まち歩きや目黒川の環境学習などを行っている。転居してきた家族も多いので、保護者にも好評である。
- 大崎エリアマネージメントでも、0歳児と母親を対象としたワークショップや中学生、高校生を対象としたボランティア活動など、地域に愛着をもってもらうための取組みを進めている。

### その他

- JR大井町駅ではH29年6月8日～18日の期間で「駅からハイキング」を実施する予定である。詳細が固まったら、協力をお願いしたい。



## 品川区観光振興協議会 第1回国際化対応部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第1回国際化対応部会を開催しました。初回の部会として、国際化対応に関する現在の取組み状況と今後の課題について話し合いました。

### 《開催概要》

日 時：平成28年8月4日（木）14:00～15:30

場 所：中小企業センター 3F 小会議室

参加者：11名（事務局、傍聴を除く）



### 《プログラム》

1. あいさつ
2. メンバー紹介
3. 検討の趣旨・スケジュール
4. 討議

テーマ①：国際化対応に関する現在の取組み状況と今後の予定

テーマ②：国際化対応にあたっての課題



## テーマ①：国際化対応に関する現在の取組み状況と今後の予定

討議のテーマ①では、参加メンバーの自己紹介とともに、国際化対応に関する現在の取組みの状況と今後の予定を紹介していただきました。

### 《各団体の国際化に関する取組み状況（1/2）》

団体	情報発信に関する取組み
しながわ観光協会	・ガイドによる外国人観光客の対応（11名在籍、協会に直接の依頼は無し）。
ガイド東京品川	・ガイドによる外国人観光客の対応（3カ国語以上対応のガイドも在籍）。 ・外国人向けのHPを用意し、24時間以内の対応を行っているため、評判もよく、ロンリープラネットやJNTOのサイトでも紹介されている。
品川区国際友好協会	・「行ってみたいまち品川・もう一度行きたいまち品川」事業として、ボランティアが区内宿泊者を案内する事業を実施。
品川区商店街連合会	・商店街のホテルに近いエリアのお店・レストランを掲載した冊子を作成中。英語・韓国語・ベトナム語で作成し、ホテル・空港に配付予定。 ・商店街のクレジットカード決済、免税制度導入状況を調査中。調査後、方針を決め、オリンピックまでの対応を目指す。
天王洲・キャナルサイド活性化協会／天王洲総合開発協議会	・天王洲の魅力をアピールするためのイベントの企画・開催（年4回）。 ・HPの多言語化を検討中（ページの7割を英語対応化）。 ・天王洲の魅力を伝えるプロモーション動画の作成（言語によらないPR）。 ・アートのまちづくりの推進（イベントではなく常設、言語によらないPR）。
旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会	・まち歩き用マップなどのパンフレットの英語化。 ・区と連携した「英語少し通じます商店街」プロジェクトの実施。
推奨の宿委員会	・それぞれのホテルで規模も事情も異なるため、それぞれ対応している状況。

## 《各団体の国際化に関する取組み状況（2/2）》

団体	情報発信に関する取組み
品川区スポーツ協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区の日本語教室参加者に対する剣道体験の案内の実施（利用は少数）。</li> <li>• 今後、外国語対応のHP、案内サイン等について検討していく予定。</li> </ul>
NPO まちづくり大井	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大井町地域のグルメガイド、スマートフォンアプリの多言語化。</li> <li>• 大井町のお土産開発（大井地域百景のグッズ、オリジナル切手等）。</li> </ul>
ゲストハウス品川宿	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3軒の地域融合型の宿泊施設（ゲストハウス）、1軒の観光案内所の運営。</li> <li>• 観光案内所では、地域情報やマナーを発信し、24時間外国人観光客をサポートするしくみを検討している。</li> </ul>
特別区競馬組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外国人向けHP、パンフレット作成（外国人が利用しやすいようリニューアル）。</li> <li>• 入場から馬券購入までの流れに対応した案内板などの施設対応を予定。</li> </ul>



## 国際化対応に関する現状の課題

討議のテーマ②では、国際化対応にあたっての現状の課題とアイデアについて話し合いました。

### 「国際化対応にあたっての課題」についての主な意見

- 品川を目的に来る外国人観光客は少なく、宿泊利用がほとんどである。
- 区内の宿泊者に対する品川案内の事業を試みたが、目的地を決めてくる人が多く、うまくいかなかったため、出発前の情報提供も必要である。
- 地元商店街で「英語少し通じます商店街」プロジェクトを実施したが、外国人観光客はそれほど多くなく、地元の熱意も下がってきている。
- ホテル宿泊客は、民泊の増加や地方部への流動などで減少している。
- 民泊を進め外国人観光客を呼び込もうとしているが、緊急災害時の対応なども考えていくべきである。
- 訪れる人が多いほど、住民には住みにくいまちになる。騒音やごみについての対策も必要である。



話し合いの様子

### 「国際化対応に関するアイデア」についての主な意見

- 日本人が押し付ける観光ではなく、外国人観光客がしたい観光、見たい観光を実現できると良い。
- 外国人観光客は、皆が行っていないところに行き行って自国に帰って発信することを喜び、口コミがすごく力を持っているので、そういうことに対応していけると良い。
- 品川駅や天王洲は外国人観光客の宿泊が多いので、宿泊だけでなく、まち散歩をしてもらえるようにしたい。
- 区内には大使館が多いため、在日外国人との交流を通して二次的な広がりをもてる可能性もある。
- 品川の良い観光コンテンツができれば、宿泊とセットにして商品化することもできる。
- 品川区周辺エリアとの連携ができると良い。雅叙園や品川駅には多くの外国人観光客が訪れるため、そのような場所から区内の場所への誘導ができると良い。
- 外国人観光客への特別な対応は必要なく、どんな人でもスムーズに歩けるまちづくりをすれば良い。



## 総括

最後に、品川区文化観光課 鈴木課長から総括がありました。

- みなさんの団体の独自の取組みのお話をうかがって、それぞれの強みをいかす部分、補強したい部分を組み合わせるとよいと思った。いろいろな強みを合わせることで、弱みを補い合って連携することで品川区の観光が良くなればと思う。
- これから、情報交換の場としてこの部会を活用していただき、ネットワークをつくっていただければと思う。区の方では、みなさんの活動のサポートや環境整備を行っていきたいと考えている。
- 国際化対応は、漠然としたテーマと感じると思うが、メインのコンテンツは、水辺部会やショートトリップ部会などの別の部会で考えている。コンテンツができ、国際化部会でやるべきことが固まってくれば、それを情報発信部会で発信するというように、最終的には、全部会で連携して成果が出せればと考えている。





品川区観光振興協議会 第2回国際化対応部会を開催しました

品川区の観光振興に向けた検討部会である、第2回国際化対応部会を開催しました。国際化対応に関する取組み状況・今後の予定を共有し、国際化対応のあり方について話し合いました。

《開催概要》

日時：平成29年2月3日（金）14:00～16:00

場所：中小企業センター 3F 大会議室

参加者：10名（事務局、傍聴を除く）



《プログラム》

1. あいさつ
2. 前回の振り返りと他部会の討議の内容
3. 討議
  - テーマ①：国際化対応に関する取組み状況・今後の予定
  - テーマ②：外国人観光客の受け入れ体制のあり方について
  - テーマ③：外国人観光客への情報発信のあり方について
  - テーマ④：周辺地区や区内大使館等との連携のあり方について



テーマ①：国際化対応に関する現在の取組み状況と今後の予定

討議のテーマ①では、国際化対応に関する品川区の現在の取組みの状況と今後の予定を共有したあと、各団体の現在の取組み状況などについて紹介していただきました。

《各団体の国際化に関する取組み状況・予定等》

団体等	情報発信に関する取組み
品川区	・H29年度の新規事業として、バーチャルリアリティ活用PR事業、東京モノレール沿線情報発信コーナー出展事業、ケーブルテレビを活用した情報発信事業に取り組む。
しながわ観光協会	・都からの貸与で窓口に多言語対応ができるタブレットを試行的に導入した。 ・ガイドしながわの養成講座では、多言語に力を入れ始めた。
推奨の宿委員会	・ショートトリップのような着地型観光を各ホテルのロビーや客室、WEBで案内するしくみを考えている。ショートトリップのメニュー、観光名所、飲食・土産等の案内情報とそれに対応したマップがあると良い。 ・多言語の対応は、タブレット通訳のサービスを契約している。
天王洲総合開発協議会	・寺田倉庫でデヴィッド・ボウイ大回顧展を開催しており、アジア唯一の開催のため、外国人も多く訪れている。建築模型ミュージアムも外国人が多い。 ・3月末を目途にホームページ、案内サインを英語化する予定である。
ゲストハウス品川宿	・4月に旅館業法の改正があるため、品川宿周辺でエリア民泊を考えている。
特別区競馬組合	・今年度は、ホームページ、ガイドブックの3ヶ国語対応を行った。次年度は、場内のインフォメーション対応を進めていく予定である。
品川区国際友好協会	・オリンピックの前年の事前キャンプに向けて、練習場を借りたいという下見がかなり来ている。下見の際は、トレーニング室、プール、シャワー室の有無の他に、宿泊施設が近くにあるかどうか、地震の際の避難場所等を聞かれる。



## テーマ②：外国人観光客の受入体制のあり方について

テーマ②では、受入体制として、言語対応や災害時対応などについて話し合いました。

### 言語対応についての主な意見

- 観光協会では、通訳オペレーターにつながるタブレットを導入した。
- 都の防災関係の会議では、「VoiceTra（ボイストラ）」という多言語音声翻訳アプリを推奨していた。アプリで話しかけると外国語に翻訳してくれ、対応言語も世界31語に対応している。
- 説明等のQRコードをスマートフォンで読み込むだけで、受け手側の言語に翻訳・表示してくれるQRコード多言語翻訳サービスもある。
- 完全に話せなくても、アプリ等のツールがあると思うと対応する側の気は楽になる。
- 話せても知識がないと案内できないし、知識があっても話せないと意味がない。両方大事である。



### 災害時の対応についての主な意見

- 災害時の対応については、現場のガイドの方からもどこよりも早く対応してほしいと要望がある。
- 公衆電話やAEDの位置が記載された防災対応マップを作成することなども考えられる。
- 一地域だけで対応しても仕方ないので、都内で統一したシステムがあると一番良い。



## テーマ③：外国人観光客への情報発信のあり方について

テーマ③では、情報発信のあり方として品川のイメージ発信や外国人コミュニティの発掘について話し合いました。

### 品川のイメージ発信についての主な意見

- 他の地域との差別化、個性を出すためには、水上交通を売りにしていくのが良いと思う。どこから船に乗れて、どこに行くことができるのかという情報をWEBと紙で発信することが必要である。
- 天王洲や品川周辺のホテルから直接船で主要な観光地に行けるイメージが定着すると運河のまちになる。

### 外国人コミュニティの発掘についての主な意見

- 日本在住で、日本のことを発信している外国人もいると思うが、自分たちが伝えたいことと外国人が知りたいがっていることは違うという意味で、品川在住の外国人へヒアリングをしてはどうか。
- 観光協会でも、協力会社に頼んで外国人目線の記事を書いてもらっているが、日本在住の外国人コミュニティとつながることができれば、その必要はなくなる。
- 区内、近隣区、都内に住んでいる外国人が品川を繰り返し訪れてくれるだけでも大きな効果になる。
- 品川に住んでいるが、平日は仕事で地域に関わることをできていない人を取り込むことができるとコミュニティも活性化すると思う。
- 観光地ですとアピールするより、住みやすいまちですとアピールする方が日本の暮らしを見たいという、本来の外国人ターゲット層にリーチするのではないか。



## テーマ④：周辺地区や区内大使館等との連携のあり方について

テーマ④では、区内大使館等との連携のあり方について話し合い、観光での連携は難しいという意見が出ました。

### 区内大使館との連携等についての主な意見

- 大使館は土日は空いておらず、国の施設なので、なかなか観光資源として取り入れるのは難しいと聞く。
- 大井どんたくでは国際交流フェアとして毎年11カ国にブース出展等に協力していただいている。
- 港区には84の大使館があるが、港区ワールドフェスティバルに協力している国は40カ国程度である。大きな国などは連絡がとれないと聞く。また、国相手の仕事なので、急に対応できなくなることも多い。